

---

# 鶴岡地域まちづくり未来事業

## 令和3年度事業報告

---

令和3年度に事業採択された8地区の鶴岡地域まちづくり未来事業の取組みを紹介します。

1. 三瀬地区自治会
2. 田川地区自治振興会
3. 第二学区コミュニティ振興会
4. 加茂地区自治振興会
5. 小堅地区自治振興会
6. 湯野浜地区自治会
7. 第六学区コミュニティネットワーク
8. 斎地区自治振興会

## 三瀬地区地域ビジョン推進事業

## 事業の目的

三瀬地区地域ビジョンの[三瀬イズム～住む楽しむコミュニティ～]としたキャッチフレーズは、三瀬の“らしさ”を表現するとともに、“みんな”“楽しむ”といった住民全員で地域の暮らしを楽しむ事に併せ、且つ、住民で不安の解消に立ち向かうことも意識している。

ビジョンの内容を見える化することで住民と共有を図りながら促進し、ビジョン策定時に掲げた具体的な活動内容を促進し、“地域での暮らしを楽しむこと”“不安の解消に立ち向かうこと”の実現を目的とした。

## 事業の内容 (令和3年度事業)

策定完了した「三瀬地区地域ビジョン」について住民への浸透を図った。ビジョンに基づき、具体的な事業を実施し、ビジョンの浸透、目標達成を図り、住民の不安解消、地域特性の向上を目指した。

- 地域ビジョン浸透事業

役員向け地域ビジョン詳細版の作成

- 地域ビジョン遂行事業

地域再発見事業、マイ防災カード設定事業 (R2からの継続)

空き家対策事業 (プロジェクトチームづくり)

子育て等の環境整備事業 (R2からの継続)

### 令和2年度実施事業

- 地域ビジョン周知事業

住民配布用地域ビジョン概要版の作成。ビジョン浸透トートバッグ作成。

- 地域ビジョン目標達成のための事業

三瀬散歩コース認定事業。マイ防災カード設定事業。子育て等の環境整備事業。

## 事業の成果

### 子育て環境整備事業

夏季休暇時の子ども見守りサポートで高校生のアルバイトを受入、地域と子どもたちの安心・安全に繋がった。4年目となる教育旅行と地域インターンを受入し、地域を共に知る動きも継続して予定されている。未来事業の計画を形にすることで、様々な角度から地区の暮らしを楽しみながら、無理なく不安解消に向けた取組みを続けている。



毎年、住民を対象に地域ビジョンに基づいたまちづくり活動報告会をおこなっています。

## 「田川太郎の里づくり」プロジェクト

### 事業の目的

田川文化発祥の地とされ、地域内に多くの貴重な遺跡や史跡、歴史資料が残されている田川地区において、「田川太郎」を切り口とし、地域住民が一体となって、創造的なまちづくり活動を行っていく。

### 事業の内容（令和3年度事業）

平安時代に田川地方一帯を治めていた歴史上の人物「田川太郎」を切り口として、歴史資料展示室整備や歴史案内板の設置等のハード事業、田川太郎のキャラクター作成やイベント実施等ソフト事業を組み合わせ、地域の活性化及び人材育成を図った。

- ・田川歴史資料展示室照明設備設置
- ・ロードサイン作成・設置（8カ所）
- ・コミセン駐車場内に「田川歴史散策マップ」設置
- ・スクールバス停留所への壁画制作
- ・七日台墳墓群から出土の蔵骨器の写真パネル制作
- ・ガイドと共に田川地区内の史跡を巡る「ぶら田川」の開催
- ・田川歴史資料展示室案内パンフレット制作

#### 令和2年度実施事業

田川歴史資料展示室等の整備。地区内案内表示板製作準備。「田川太郎」キャラクター作成。

### 事業の成果

地区内の史跡や文化財等の所在地を示すロードサインは国道沿いに8カ所設置され、田川コミセン正面の歴史散策マップと共に好評を得た。

スクールバス停留所の壁に、地区内の小中学生が中心となり、田川の四季の原画を描き表現するなど郷土愛への醸成に繋がった。

地域外からの歴史展示室への来館もあり、地域の盛りあがりに繋がっている。



田川の歴史散策マップ完成 3



スクールバス停留所へ  
壁画制作

第二学区コミュニティ振興会の取組み

天神祭を中心とする活力ある地域創生プロジェクト  
～ 天神祭 人づくり プラン ～

事業の目的

地域の特色ある行事として定着している天神祭を核として、以下を目的に実施する。

1. 天神祭の際に、より多くの人々が第二学区に集まる賑わいをつくる。
2. 天神祭を通して培った二学区の人材を、将来の地域の活性化に活かす。
3. 第二学区の誇れる歴史・文化などを広く学区住民及び市民に PR する。
4. 3か年の事業が終了しても継続的に取り組める事業内容とする。

事業の内容（令和3年度事業）

地域の特色ある行事として定着している天神祭を核として「天神祭の賑わい」を創ること、天神祭を通して「二学区の人財」を活かすこと、二学区の歴史・文化を発信し「地域への誇り」を育てることを事業の3つの柱として実施した。

- ・まち歩きマップ・案内板、文化財等ポイント説明板の製作
- ・まち歩きマップリーフレット、第二学区の歴史、文化を紹介する冊子の製作
- ・第二学区の文化財を巡る親子ウォークラリー大会の開催
- ・SNS を活用したまちづくりやコミセン事業等の発信

令和2年度実施事業

- ・祭旗や提灯の設置による賑わい創出
- ・若手有志による大絵馬の展示企画、運営
- ・まち歩きマップ製作準備、案内板設置準備

事業の成果

今年度も天神祭は神事みの開催となった。

第二学区の歴史など巡り解く「ウォークラリー大会」の開催が、地域の魅力を再発見できる事業となったため継続していく。

SNS で地域事業の取組みを情報発信する事ができた。

元年度から3か年、様々な話し合いの積み重ねにより、第二学区まちづくり未来事業推進員のまとまりができ、まちづくり意識が高まっている。



第二学区  
マスコットキャラクター  
てんちゃん・じんくん



まち歩きマップ  
4



第二学区ウォークラリー大会

## 加茂ビジョン実施事業

## 事業の目的

日本遺産の追加認定を受けてから3年目となり、昨年度作成した歴史マップと看板で紹介している各所を訪れ、加茂のまち歩きを楽しんでいる方が増えている。手つかずの場所が多い中、安全な観光ルートの整備を行い、沢山の方が加茂を訪れてくれるよう引き続き加茂をPRしていく。

加茂の伝統芸能の一つである加茂泊町大黒舞と、昨年度から要請を行っているまち歩きガイドの後継者育成に力を入れていく。

## 事業の内容（令和3年度事業）

加茂ビジョン5つの柱のうち「加茂の歴史・教育を守り伝えていくための活動」について事業展開した。日本遺産「北前船寄港地」追加認定の観光整備として日和山の整備、帆船乗組員が残した「泊町大黒舞」の継承活動、まち歩きガイドの体制を継続するための養成本を作成し、地域ビジョンに掲げる目標の達成に向け取り組むとともに、地域活性化や人口減少対策に繋がる事業を実施した。

- ・日和山整備
- ・まち歩きガイド養成本作成
- ・大黒舞唄本書見台、唄本整備

## 令和2年度実施事業

- ・自然・風景を活かしていくための活動  
ビューポイントマップ作成、看板作成
- ・加茂の歴史・教育を守り伝えていくための活動  
歴史ガイド事業（マップ作成・ガイド養成）

## 事業の成果

日和山までの登山道を整備したことで安心して案内が出来るようになり、加茂の歴史に親しんでもらうまち歩きイベントを開催。地域学習などの新たなガイド活動の広がりがみられ、加茂の魅力を発信していく意識が高まった。



まち歩きガイドは、地域学習や観光客からの  
依頼を受け活躍中！

## 小堅地区自治振興会の取組み

遊休家屋をシェアハウスに、コミセン2階をシェアスペースに  
 ～交流から始める新しい関係づくり。そこから生み出す地域活動と  
 安全・安心な暮らし～

### 事業の目的

これまでの地域活動を「地域ビジョン」に照らした計画的・組織的なものへとステップアップする。  
 これまで同様「住民の主体性を高め、関係人口の一層の創出を図ることを通して、地区内外の力を  
 集め柔軟な力強さを紡ぎ出す」ことを目的とし、地区のレジリエンスを高める活動を本格化する。

### 事業の内容（令和3年度事業）

コミセンの2階を多様なメンバーが交流できるシェアスペースにリノベーションした。  
 子どもの年齢や学年に合った、交流や滞在の仕掛けとして「幼児遊具スペース」、「室内アスレチック  
 クスペース」、「勉強スペース」等を設置した。大人の居場所及び来訪者との交流の場としてカフェコ  
 ーナーを設置した。これらのハード整備を参加型ワークショップにて造り上げた。  
 また、「地域ビジョン」を完成させ、R3.11.29に完成報告会を実施した。  
 地区運動会や遊び場などで利用されることの多いグラウンドを整地した。

#### 令和2年度実施事業

- ・地域ビジョン策定準備
- ・シェアハウス屋外交流スペース整備

### 事業の成果

地域ビジョンの完成により、推進委員会が立ち上がり、ビジョンに沿った活動が活発かつ継続的に  
 行われている。子どもと子育て世代が集まる居場所ができたことで、交流や対話が生まれ、地域の当事  
 者意識が高まっている。シェアスペースによって、事業に関わった住民やソトの人々にとっての、地域  
 活動への参加のきっかけや活躍の機会が創出された。



完成した小堅の地域ビジョン  
 「コガタノスガタ 2030」



室内アスレチックスペース

湯野浜のみらいに舵をとれプロジェクト～さぁ 波に乗ろう！！～

## 事業の目的

湯野浜地区は緑豊かな山を背後に前面には夕日百選の日本海が広がり北を一望すれば美しい砂浜が続き温泉が湧き出る自然の魅力あふれる地区である。この街の魅力を引き出し住民が春夏秋冬を感じながら心豊かに楽しみながら過ごせる場所の創出を目指す。合わせて観光地としての魅力、交流人口の拡大に繋げる。

## 事業の内容（令和3年度事業）

- ・まちの中心部環境整備  
（改札口ひろば・でんしゃみち・渚のステージ）

- ・海岸遊歩道美化活動

### 令和2年度実施事業

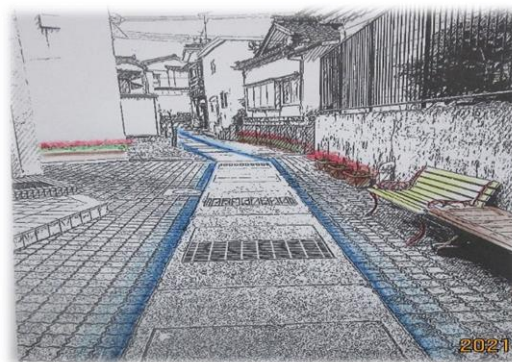
- ・サイクリングロード整備（草刈り、ベンチ設置、街路灯の設定、柵塗装）
- ・海岸遊歩道美化活動
- ・ロゲイニング企画・開催、看板設置

## 事業の成果

渚のステージ設営・でんしゃみちの塗装などの各作業では、多数の住民の協力により、住民同士の心の繋がりを得ることができた。今後はイベント開催（伝統芸能）などを通じ、地域住民と温泉客の憩いの場となるよう有効利用し、地区の活性化に繋げたい。



住民による「渚のステージ」設置事業



でんしゃみち

## 第六学区コミュニティネットワークの取組み

### 「共生のまち6楽暮～世代を越えて繋がる居場所づくり～」プロジェクト

#### 事業の目的

第六学区内で、特に高齢化率が高く、単身高齢者や空き家が多いエリアをモデル地区に設定し、高齢者や子どもたちの居場所づくりに取り組む。住民ニーズに対応した活動の実施や支え合う仕組みづくりを行い、困りごとを気軽に話し合える居場所づくり等課題解決に向けた取り組みを展開していくことで、安全、安心に暮らせる地域を目指す。

#### 事業の内容（令和3年度事業）

学区の生い立ちなどの地域特性を踏まえ、狭域コミュニティ活動を検討した。

高齢者及び子ども達が触れ合い、支え合える居場所を整備し、「はろ～くらぶ」と名称を決定した。

地域ボランティアを募集し、「支え合う」人材の育成を展開した。

今回の活動を実践し、本事業の終了時に見直しを行い、継続的に次の狭域コミュニティづくりについて検討を行う予定。

- 居場所づくり事業

居場所整備、運用規定の設定、活動の住民周知

- 人材育成事業

支え合いボランティアの募集、管理人の確定

#### 令和2年度実施事業

- 活動内容の検討

- 未来事業支え合いプランプロジェクト組織の立上げ

- 拠点施設の検討

#### 事業の成果

居場所「はろ～くらぶ」を開所する事ができた。子どもから高齢者まで交流の居場所として地域に根差すよう創意工夫を重ねていく。

これまでの意見の積み上げや事業を重ね、学区のまとまりができた。



ワークショップで、住民からのアイデアをまとめながら、居場所づくり事業を進めていきます。



はろ～くらぶ



## 齋地区自治振興会の取組み

### 地区住民が郷土を知り、誇りと魅力を発信するまちづくりプロジェクト

#### 事業の目的

地区住民が郷土を知り、誇りと魅力を発信するまちづくりを実践する。

特に若い人たちが地域の魅力や歴史を理解し、歴史と文化の継承を担い、率先して地域の振興と発展に寄与するよう働きかける。

#### 事業の内容（令和3年度事業）

齋地区の文化や暮らし、人物等の歴史調査を地区住民全体で取り組み、継承ツールとして小冊子とDVDを製作した。また、地域めぐりを企画するとともに、講座や子ども会活動等にDVDを幅広く活用することで住民が地域の魅力や歴史文化を身近に感じ、理解を深め、誇りや郷土愛を育む仕組みづくりを進めた。特に「雪の降るまちを」発想の地を積極的にまちづくりに活用し、地区内外に発信した。

- ・ 齋ものがたりダイジェスト版とDVD製作
- ・ 「雪の降るまちを」DVD製作と記念碑設置

#### 令和2年度実施事業

- ・ 「齋ものがたり」小冊子（ガイドマップ付き）の作成、配布
- ・ 郷土史個別冊子の製作と現地講座の実施
- ・ 「雪の降るまちを」冊子製作及びDVD製作準備
- ・ 小学生のミュージックベル演奏の下校時チャイム放送

#### 事業の成果

地区住民が地域の魅力や歴史を身近に感じ、後世にも継承できる仕組みとツールが整い、容易に学ぶことができるように整備された。

研修会等で冊子を使用し、住民の地域に対する理解を深めながら、「雪の降るまちを」ゆかりの齋地区を内外にアピールできた。



R3.9.28

雪の降るまちを記念碑除幕式



齋小学校正門脇に建立